



# 日本災害情報学会 第2回学会大会プログラム

2000年11月30日・12月1日 大宮ソニックシティ

## 【研究発表 午前の部】 9時00分～12時00分

### インターネットの利用・情報伝達

#### 「インターネットによる情報支援活動の展開 ―有珠山から三宅島まで―」

○千川剛史（大妻女子大学人間関係学部）

#### 「インターネットによる学生の安否情報確認システムの試作と評価」

○湯瀬裕昭（静岡県立大学経営情報学部） 清水澄明（スズキ教育ソフト） 柴田義孝（岩手県立大学ソフトウェア情報学部） 鈴木直義（静岡県立大学経営情報学部）

#### 「災害時におけるWeb-Pageを用いた情報発信に関する研究―平成12年有珠山噴火に伴う情報発信を事例にして―」

○浅田純作（井上工業） 片田敏孝（群馬大学工学部建設工学科） 岡島大介（群馬大学大学院工学 研究科） 坪井博史（群馬大学工学部建設工学科）

#### 「Internetにおける災害情報の危険性と対応策」

○牛山素行（京都大学防災研究所）

#### 「都市水害時の情報の役割に関する研究」

○木村より子（京都大学大学院情報学研究科） 河田恵昭（京都大学防災研究所）

#### 「防災における各組織の管理範囲と組織間のコミュニケーションに関する考察 玄倉川事故を例として―」

○深澤知宏（電気通信大学大学院情報システム学研究科） 田中健次（電気通信大学大学院情報システム学研究科） 伊藤 誠（電気通信大学大学院情報システム学研究科）

#### 「原子力緊急時と情報伝達の諸問題 ―自然災害からの教訓とJCO事故の反省―」

○中島敬行（防災技術調査研究所）

#### 「阪神大震災時の住民情報分析（2）―第一期住民情報の統計的分析とその特徴について―」

○三石博行（金蘭短期大学生活科学科）

## 【研究発表 午後の部】 13時00分－17時00分

### 火山災害・地震情報・危機管理

#### 「有珠山周辺に生活する住民の火山災害に対する意識調査」

○宇井忠英（北海道大学大学院理学研究科） 伊藤 晋（北海道大学大学院理学研究科）

#### 「出されない緊急火山情報 －2000年8月の三宅島火山防災の問題点－」

○小山真人（静岡大学教育学部総合科学教室）

#### 「2000年有珠山・三宅島噴火における火山情報の分析～緊急火山情報の発信の効果と問題点～」

○小林知勝（東京大学大学院総合文化研究科） 廣井 脩（東京大学社会情報研究所）

#### 「地震の事前情報についての提案 －地震の短期予測が可能な時代を想定して－」

○犬伏裕之（ITS犬伏技術士事務所）

#### 「災害・事故に対する市民の自己防衛の可能性」

○木根原良樹（三菱総合研究所）

### 災害報道・教育

#### 「有珠山噴火はどう伝えられたか ～テレビが伝えた災害情報～」

○大西勝也（NHK放送文化研究所）

#### 被災地の子供たちに火山の本質をどう伝えるか「有珠山ウォッチング」の実践報告

○中川和之（時事通信社）

#### 「磐梯山の火山活動と報道そして火山教育」

○佐藤 公（磐梯山噴火記念館）

#### 「原子力災害報道の実態と課題 －JCO臨界事故報道の検証－」

○渡辺 実（まちづくり計画研究所）

#### 「災害報道のあり方をめぐって －都民アンケート調査より－」

○森 康俊（東京大学大学院情報学環／社会情報研究所）

## 防災行政・災害支援

### 市町村地域防災計画「地震対策」の策定と課題

- 松木理一（長崎大学大学院） 高橋和雄（長崎大学工学部） 中村聖三（長崎大学工学部）  
大塚秀徳（熊本県土木部）

### 「被災者・行政支援情報システムの研究開発」

- 渡部和雄（静岡県立大学） 大石貴弘（静岡県立大学） 橋本民雄（沖電気工業）  
大石新市（沖電気工業） 渡辺伸一郎（静岡市） 三本松広樹（静岡市）

### 「計画中の災害体験共有システムについて」

- 米谷恒春（防災科学技術研究所） 中根和郎（防災科学技術研究所） 佐藤照子（防災科学技術研究所）  
高橋英明（三菱総合研究所） 石井 和（三菱総合研究所）

### 「災害現場での活躍が期待される無人飛行体」

- 木根原良樹（三菱総合研究所） 横田 崇（気象庁） 山越隆雄（建設省土木研究所）  
相良明（佐藤建設工業） 佐藤 彰（ヤマハ発動機） 野竹正義・上野信吾（三菱総合研究所）

### 「新潟県六日町における地盤沈下と道路 消雪地下水の一括集中管理について」

- 陶野郁雄（環境庁国立環境研究所） 関谷一義（新潟県保健環境科学研究所） 上村春男（新潟県六日町生活環境課）